



島田教授の御好意で本年 10 月からスウェーデン、カロリンスカ大学に留学させていただいております、森です。

日本からスウェーデンまで飛行機で約 14 時間、いよいよ留学生活が始まりました。



綺麗な景色と家の近くに住んでいる野うさぎが私を出迎えてくれ、日本では体験できない光景に胸が躍りました。

そして、期待と不安を抱きながら、大学の門をたたきました。



慣れない英語での自己紹介。汗びっしょりになっております。
肝炎ウイルスの検査と MRSA の検査を受けた後、病院での就業が始まります。



その前に、少しスウェーデンの紹介をさせていただきます。すでにご存じの方もおられると思いますが、ノーベル賞を制定したアルフレッド・ノーベル氏はスウェーデンの出身であります。平和賞を除くノーベル賞授与式が行われる市庁舎と、ノーベル賞が設けられてから 2001 年で 100 周年を迎えたのを記念して造られたノーベル博物館と、アルフレッド・ノーベル氏の銅像と私です。

そして、スウェーデンの名物料理のヤンソン氏の誘惑というメニューです。ジャガイモとアンチョビを交互に重ねて焼き上げた料理ですが、肉を口にしないキリスト教徒のヤンソン氏でさえ口にしたというのが名の由来だそうです。そしてこのメニューは岩田先生の得意料理のひとつでもあります。



また、スウェーデンは 9 世紀前後からヴァイキングの名で知られており、日本でも馴染みのあるビュッフェ形式のヴァイキング料理は、このスウェーデンが発祥の地であります。病院の食堂もビュッフェ形式でありまして、いくら取っても値段は変わらず、東島先生もビックリする程、同僚たちはいつも山盛り食べています。



余談はさておき、ここから私の大学生活に移ります。まず私を invitation してくださったエリクソン教授です。それから私が通っている Labo のメンバーです。私の前におられた岩田先生の評判がとても良く、その恩恵を受けて私もみなさんから非常に親切にいただいております。



さて、肝移植ですが、若輩者の私も手術に入らせてもらっております。
日本で学んだバックテーブルや、肝移植の流れ、術後管理を思い出しながら、こちらのやり方に早く慣れるように頑張っております。
しかし、なぜか年の瀬が近づくにつれて肝移植の頻度も増えてきて、最近では2日に1回のペースであり、かなり大変です。



取って付けたような写真ですが、一応ちゃんと実験もしております。hepatocyte の分離や
豚島細胞移植の手技などを学び、今後はラットあるいはブタの肝移植モデルでの実験にも
トライする予定です。



これは、学生の外科実習の様子ですが、実際にブタを用いて血管吻合の練習、脾臓摘出、腎臓摘出、時間があれば腎移植まで行います。私が指導する側というのも笑える話ですが・・・。



また、カロリンスカ大学で1年に1回アメリカのピッツバーグ大学から教授を招待して講演をしていただく会を催しているようです。今年は **Stephen Strom** (ステファン・ストローム) 教授を招いて講演をしていただきました。 **Hepatocyte Transplantation** の講演でありました。この写真は講演前夜の **dinner party** の様子ですが、オペラハウスという超豪華なレストランに私も招待していただきました。右下の写真は、**Stephen Strom** (ステファン・ストローム) 教授と私の大親友であるドイツ人のカールとの写真です。(もちろんすぐ **Stephen Strom** (ステファン・ストローム) 教授にこの写真をメールに添付して送りました。) 金本先生、カールは男前だと思いませんか？



そしてその隣に併設されているバーに場所を移し、二次会です。先程とは雰囲気がガラッと変わり、陽気に飲んだり踊ったりし、スウェーデン流のパーティーを体験できました。



それから、カロリンスカ大学で活躍されている東北大学出身の熊谷（くまがい）先生と大阪大学出身の山本先生にもお会いでき、またスウェーデンに在住の日本人の方々とも知り合え、少しホッとしております。



こちらはもう雪が積もり始め、本当に寒くなってきております。もし、スウェーデンへお越しの際には、防寒対策など色々ご注意ください。



I wish you Merry Christmas and a Happy New Year !!